

JFA

日本フリスビードッグ協会会報

2012 January

URL <http://www.frisbeedog.co.jp/>

SKY DOG[®] SPORT

vol.22

特集

ジャパンファイナル 2011
in 兵庫淡路島



**渋谷功&疾風
グラチャン初制覇!**



JFAメンバーの皆さんへ

明けましておめでとうございます。

昨年中は、当協会活動にご支援・ご協力を賜わりありがとうございました。
本年も日本フリスビードッグ協会をよろしくお願い申し上げます。

さて、第18回ジャパンファイナルも11月6日に閉幕し、また新たなチャンピオンが誕生しました。

昨年度のジャパンファイナルは、例年以上に参加している皆さんの意気込みと競技に対する情熱を随所に見る事ができ、とても満足の行く大会でした。

公式戦に於いてほとんどのチームがジャパンファイナルノミネートを目指し、更に優勝を目指しますが、その名誉を手にする事の出来るチームは毎年1チームです。

本年度の皆様のご活躍をお祈りいたします。

私自身、近年競技会に参加し、あらためて感じた重要な事は、自分の愛犬と楽しみ、努力し、そのイベントに参加した家族や友人との楽しい時間をいかに過ごすかということにもあると思います。

是非この素晴らしい大会に、皆さんの友人にも観戦するだけではなく参加する事を勧めて下さい。すばらしい思い出になる事と思います。

また、近年、ますます少子化・高齢化・独居化が進み、このような現状を反映するかの如く、ペットの数は増加を続け、2010年には未成年者の数をペット登録数が超えたという発表がなされました。

こうしたペットの増加に伴い、様々な問題が生じていることも事実です。特に飼い主のマナー欠如に起因することが多く、管理責任等も問題になっています。愛犬のしつけとともに、飼い主としての責任の自覚・マナーの向上が求められているわけです。

1994年、日本に於けるドッグスポーツ競技の草分けとして、いち早く日本フリスビードッグ協会を設立、現在では愛犬家にとってすっかりポピュラーなものとなりました“フリスビードッグ”を全国へ普及すべく、活動を行ってまいりました。

今後も、当協会は「人と犬との共生」「地域社会との共生」をテーマに「人と犬とのよりよい関係づくり」を目指し、これからも支部・事務局・クラブ・インストラクター共々努力してまいります。

最後に、会員の皆さん、そして、皆さんの家族、皆さんの愛犬にとって、2012年が、昨年以上に素晴らしい年になるよう、一緒にがんばりましょう。

2012年1月吉日

日本フリスビードッグ協会

山田 仁

JAPAN FINAL 2011

in 兵庫淡路島



▲ニッケペットケア株 小宮様



▲ブラックウッドジャパン
コーポレイション 岡田様



▲機ティークリエーション 太田様



▲有谷尾興産 小谷様

開催日 ● 2011年11月5日(土)・6日(日)

会 場 ● 国営明石海峡公園 淡路地区

東日本大震災からの復興支援を目的として、開催してまいりました2011年シリーズ。義捐金をはじめ、会員の皆様からの多大なご協力をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。

そんな2011年度の締めくくりとなる「第18回 ジャパンファイナル」は、協会設立の年に発生した、阪神・淡路大震災からの復興を果たした兵庫県淡路島での開催となりました。

日程の関係で、実質2日間開催となった今大会は、あいにくのお天気となりましたが、これまでにないハイスコア・バトルの連続で、ジャパンファイナルにふさわしい、見ごたえ十分の大会となりました。

また、今回は特例として「東北杯」を採用。被災地のプレーヤーの皆さんのほつらつとしたプレーは、今大会を盛り上げてくれると同時に、復興を目指して頑張っている皆さんからのメッセージとして、見る人の心に届いたことと思います。

今大会の誘致・運営にご協力いただいた皆様、そして、ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

また、年間を通してご協賛いただいたスポンサー各社様にも、心よりお礼申し上げます。

主 催 日本フリスビードッグ協会

協 賛 ニッケペットケア株式会社／ネスレ日本株式会社 ネスレビュリナペットケア株式会社
ティークリエーション／ブラックウッドジャパンコーポレイション 有限会社 神戸工房／有限会社 谷尾興産

特別協賛 デビフペット株式会社／エコトレーディング株式会社

後 援 兵庫県／淡路市／淡路島観光協会／公益社団法人Knots



JAPAN FINAL 2011 in 兵庫淡路島

■グランドチャンピオンシップ

2011年度日本一決定戦。どのチームにグランドチャンピオンカップが渡るのか、運命の一戦を迎えることとなった国営明石海峡公園 淡路地区。この日は前日の雨はほぼ上がり、風は時折会場内を巻くように吹くも、穏やかなコンディションとなりました。

第1ラウンドが開始され、各チームのポイント状況は混沌とした状況。その中で、第1ピリオドを終えようというところで、最初に40ポイントをマークしたのは古野溪太郎 & schumacherチームでした。



その後もポイント争いは20ポイント台後半から30ポイント台。緊張の糸が張りつめたコートの中では、なかなか優位になるポイントは生み出せえず、各チームの苦戦が続きました。

第1ラウンドを終えて、40ポイント台をマークしてきたのは75チーム中5チーム。グランドチャンピオンシップ決勝の舞台へは7チームの狭き門。果たして、この5チームは残れるのか？ 決勝7チームに残るのはどのチームなのか？ 緊張感と期待感の高まる中、運命の第2ラウンドを迎えることとなりました。

第2ラウンド第1ピリオド。まず初めに決勝ボーダーラインの指標をつくりだしたのは、第1ラウンド34ポイント+第2ラウンド32ポイント、トータル66ポイントで予選を終えた西山哲也 & 陽向チーム。ポイント的には決勝に残れる可能性を秘めたポジションでした。

しかしながら、後半へ進むごとにポイントは高騰し、決勝ボーダーラインは史上最高の70ポイント台へ突入。

そんな中、予選をトップで通過したのは、82ポイントをマークした、渋谷功 & 疾風、須貝ひとみ & Lienの2チーム。そして、決勝ボーダーラインは74ポイントとなりました。

いよいよ、真の日本一が決定する大舞台、決勝ラウンドへ。

7チームの精鋭たちの最後の1ラウンド勝負が始まりました。

第7位通過、決勝ラウンドの皮切りは、今ファイナルが連続9回目の出場となる松尾至 & NOVAチーム。長年楽しみ続けるという点で、多くのフリスビードッグを愛する者のお手本となるようなチームが、この最高の舞台に立ったのです。しかし、予選ノミスできたこのチームでさえ、グラチャン決勝の緊張感に勝てなかったのか、まさかの痛恨の2ミス…。

後続のチームにも緊張が連鎖しないかという不安が見る者の脳裏をよぎりましたが、そんな中、谷越久仁夫 & 環菜チームが36ポイントをたたき出し、トータル110ポイント台にのせてくる。

その直後、この日、抜群の安定を誇った 三本欽麗 & Pallas Athenaチームが決勝40ポイントを獲得し118ポイントと頭一

つリード。

続く須貝信也 & Lienチームもトータル118ポイントで並び、トップタイに浮上。

この後に続きたかった、予選3位の和田陵

太郎 & Dianaチームは、痛恨のワンミスがあり、残念ながら108ポイントでフィニッシュ。

そして、ここで紅一点、須貝ひとみ & Lienチームが登場。居並ぶ強豪を相手に一步も譲らず、トップタイの2チームを上回るトータル120ポイントまでのぼしてフィニッシュ。残すは、予選トップタイの渋谷功 & 疾風チームのみとなりました。

38ポイント獲得でトップに並び、39ポイント以上獲得で日本一チャンピオンの座を勝ち取れるという状況の中、緊迫の一戦がスタート。

ジャッジ表に刻まれる8P-8P-8P-8P…。



注目の最終スロー、誰もが息を呑むラスト投、渋谷選手のスローイングは？ 疾風のキャッチ成功なるか？

まるで、スローモーションのよ

うなラストのキャッチシーンでした。

ラストも8ポイントをジャッジ表に刻み、MCへ送られたジャッジのサインは40ポイント！

渋谷功 & 疾風チームが、見事に2011年度日本一の座を勝ち取りました。





グランドチャンピオンシップ

優勝 渋谷 功&疾風

まず、東日本大震災により被害を受けられた皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。被災地域の皆様のご健康と一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。次に、一年間、大会の運営に当たられた、本部、各地スタッフの皆さんに心よりお礼を申し上げます。

我が家をフリスビーに夢中にさせたのは、ラブラドルのあんずです。フリスビーの楽しさ、難しさをあんずは教えてくれ、一緒にゲームを組み立てる楽しさにはまっていました。そんな時にやってきたのが疾風でした。最初は手元にとっても苦勞して、ゲームも疾風に振り回されてばかり。なんて大変な子なんだろうと…。そんな疾風に一生懸命手元を教えていったのは嫁でした。毎日毎日少しずつ、時間を積み重ね…彼女の疾風への愛情（執着??）はそんな所からきていると思われます。（笑）

2011 年度は疾風の怪我に始まった年でした。もうフリスビーは無理かな…と思っただけに、復活できたときの喜びは言い表せないものがあり、また、この時の仲間の励ましには大変助けられ、友達のありがたさが身にしみました。疾風とまたプレー出来る。それが本当に嬉しくて、1 戦 1 戦がととても大切に感じました。

疾風は皆さんもご存知のとおり、決してキャッチ率がよい子ではありません（笑）。しかし、足の速さ、リターンの無駄のなさには素晴らしいものがあり、ここの一番の試合の集中力のすごさには舌を巻くものがありました。この子となら !!! と毎年毎年思ってた 5 度目のファイナル。夢をかなえてくれました。



ファイナル当日、1R。落ち着いているつもりでしたが、1 投目突き刺しのミススロー。これで何かが吹っ切れて、ロング 3 本決め手元で残り 10 秒。疾風の足を信じて投げたチョロをミラクルキャッチの 4P。最後ロングに決まって 1R ワンミスの 36P。疾風の足の速さがミスフォローしてくれた感謝のラウンドでした。2R は軽い追い風で攻めるか守るか迷っていましたが、直前にプレーした Lien チームの攻める素晴らしい試合に心が決まり、攻めて 46P。

やっとファイナルで念願の初決勝！決勝では疾風と楽しんで自分たちのプレーをしよう !! 疾風を信じる !! と心に決めての決勝でした。

結果、疾風のフォローの全投キャッチで見事優勝 !!!

一年間共に頑張ってきた仲間がいたからこそ、つらいときも乗り越えてこられました。いつも励まして、支えてくれた仲間、嫁、に本当に感謝のシーズンでした。ありがとうございました。そしてこれからもよろしくお願いします。最後に、疾風本当にありがとう !!! これからもよろしく。





JAPAN FINAL 2011 in 兵庫淡路島



グランドチャンピオンシップ

第2位 須貝ひとみ&Lien



Lien とは今回で 5 回目のファイナル参戦。

ファイナルとは毎回とても緊張するものですが、今回ほど緊張したファイナルはかつて記憶にありません。

1 投 1 投、投げるごとに恐怖心がどんどん増し、2 R では 5 投目をキャッチして戻ってきた Lien をギュッと抱きしめ、しばらく動け

なかった程でした。

私のパートナー、Lien はコートの中でどんな場面も冷静沈着、落ち着いたプレーで、私の不安や迷いを吹き飛ばしてくれる、本当に心底信頼出来る、最強のパートナーです。

今回も Lien は決勝ボーダー 74P という、史上最高ポイントの決勝舞台へ私達を連れて行ってくれました。

このような最高の舞台で戦わせてもらう事を心の底から光栄に思いました。そして選ばれたからには最高のプレーを見せる！という強い気持ちを持ってコートに向かいました。

結果 2 P 足りず、昨年に引き続き準優勝という結果に、正直悔しいという気持ちはありますが、この悔しさは 2012 年シーズンに向けての意欲に大いにプラスになったと言えるでしょう。

最後になりましたが、私達のフリスビードッグの原点でもある CDDC クラブの皆さん、淡路での応援、本当に力をいただきました。この場をお借りし、深く感謝申し上げます。ありがとうございました！

今後もタフィー&Lien 共々、須貝家をよろしくお願い致します。



グランドチャンピオンシップ

第3位 須貝信也&Lien



2011 シーズンは仕事がハードで、ほとんど練習時間も取れず、睡眠不足と疲労でゲームにも集中できない時が数多くありました。そんな中でも言い訳をしたくない！！ Lien に迷惑をかけるようなプレーはしたくない！と自分に言い聞かせながら乗り切ってきたつもりです。今思えば本当に苦しいシーズンでした。

でも、その苦しさがあったから自分の殻を 1 つ破ることが出来たと実感していますし、「己を信じる力」「攻める心」を自分のものにできたと確信しています。

ただ、グランドチャンピオンシップでは、その力を充分に発揮できなかった。慢心という他ありません。優勝した渋谷・疾風チームのように 1 R から攻める姿勢が不足していたと反省しています。

しかし、JFA 史上最高のボーダーラインでの FINAL 決勝に残り、素晴らしいライバル達とそのステージを共有できたことを、心の底から幸せなことだと思っています。

決勝呼び出し前の飯島君の MC にも感動しました。実は自分…現場では集中しすぎて耳に入っていませんでした。すみません。後でビデオを観た時には、涙が止まりませんでした。今回のプレー、少しは認めてくれるかな？ セベリアーノ。自分なりに頑張ったけど及びませんでした。

フリスビーをやり始めて 9 年。Taffy、そして Lien のお陰で、こんな素晴らしい経験をさせてもらって本当に幸せです。

2012 シーズンは、更に上を目指しもっと強くなる為に、全力投球で体力が続く限り走り続けたいと思います。

最後に、淡路まで応援に来てくれた地元クラブの友人、北海道から熱いエールを送ってくれた仲間達、色々とアドバイスをいただいた先輩方、シーズンを通じて共に競い合った全てのチーム、JFA のスタッフの皆様、そして最大のライバルであり、1 年間競い合い支えてくれた奥様に、心から感謝を申し上げます。有難うございました。



■レディースチャンピオンシップ



本年度も、ジャパンファイナルを迎え、熱き女の闘いが繰り広げられました。

風は安定しながらも若干強く、雨が降るコンディションとなりました。

ディスクを握るグリップは濡れて安定せず、競技犬の足を奪うようなウェットコンディションのコート内。どのチームも心なしか不安な雰囲気を持っているようでした。

ノミネートを受けた57チームの闘いの行方は如何に…。

第1ラウンド。心配されたコンディションの悪さが、そのまま各チームのポイントに現れました。

日本屈指の強豪プレイヤーが出揃うファイナルの舞台で、30ポイント台が出ない状況が続きます。

そして35チーム目、菊地敦子&琥珀チームが30ポイントをマークしたものの、その後もムードは変わらず、混沌とした試合展開がつづき、その後30ポイント台をマークしたのは、西前まな美&SUNチームのみという結果…。

第2ラウンドを迎え、状況は第1ラウンドと似た展開を続ける中、第1ピリオド終了時点で唯一50ポイント台に乗せていたのは、最年少の高橋未夢&rosyチームでのみで。

レディース日本一を決める決勝ラウンド進出は、わずかに7チーム。最年少のチームに残って欲しいという、期待が膨らむ中、ゲームは第2ピリオドへと進みました。

しかしながら、さすがは日本各地から集まった強豪チームたち。後半ですばらしい粘りを見せ、終わってみれば、決勝ボーダーラインに6チームが並ぶという大激戦となりました。



予選トップは第1ラウンドトップを死守した菊地敦子&琥珀チームが60ポイント。予選2位通過は、九州からの強豪、松尾直美&AERA

チームが53ポイント。続く3位タイ通過には52ポイントを獲得した6チームがひしめくという結果。いずれのチームもレディース日本一を狙える位置での8チーム決戦となりました。

決勝ラウンド、下位のチームの捲りはあるのか？とはいえ、3位以下はまったくの同ポイント。

最初に決勝の舞台に足を踏み入れたのは、西前まな美&SUNチーム。菊地敦子&琥珀チームとともに第1ラウンドでトップに立ち、第2ラウンドをワンミスでしのいで、決勝ボーダーライン内に踏み留まったこのチームが、決勝ラウンドで32ポイントをたたき出しトータル84ポイント。

同ポイントで並ぶ後続チームに大きなプレッシャーを与

えました。

後続のチームは、大きなミスは無いまでも、84ポイントを上回ること無く、予選2位の松尾直美&AERAチームを迎えることとなりました。

チーム松尾、決勝ラウンド開始後第3投目にミスが入るが、ここは実力者、後半2投をロングで決めて決勝30ポイントを獲得。しかし、西前まな美&SUNチームには1ポイント届かず…。

ここで、いよいよ予選トップの菊地敦子&琥珀チームが登場。予選ポイント8ポイントのアドバンテージを守り切れるか？

優勝を決めるには25ポイント以上が必要な状況ですが、このチームにとっては、決して高いポイントではなく、むしろ周りからは、楽勝ムードさえ漂っていました。



しかし、コンディションが徐々に暗闇へ変化しつつある夕暮れ時、競技順が回って来た頃には、コートは闇に包まれていま

した。そんな悪コンディションでの決勝ラウンドでしたが、安定したプレーは女王の証とばかりに、決して無理をしない。

琥珀に確実なキャッチを求めるような完璧なスローをミドルエリアに連投し、それに答えて琥珀もパーフェクトキャッチ！決勝ラウンド30ポイント獲得。

菊地敦子&琥珀チームが、予選から全て30ポイントで揃えての堂々の優勝。レディース日本一の座を昨年のコンビ愛犬珊瑚に続き勝ち取ることとなりました。





JAPAN FINAL 2011 in 兵庫淡路島

■スモールドッグチャンピオンシップ



7回目を迎えたスモールドッグチャンピオンシップ。今年は37チームが全国の頂点を目指し、予選ラウンドがスタートしました。前日の雨に比べたらコンディショ

ンは良い…はず。

しかし第1ピリオドチームのポイントはなかなか伸びず、重苦しい状況がしばらく続く。

第2ピリオドに入り、重苦しい空気を一新してムードをかえたのが、ランキング16位の仲本和弘&はちべえ（パピヨン）チームだ。ファーストラウンドトップの28ポイントをたたき出し一歩リードを保つ。

決勝進出へ向け勝負のセカンドラウンドがスタートし、各チームの猛追が始まる。

前年度王者の土田雅志&栗の介チームは、5投パーフェクトの26ポイントを追加するも、ファーストラウンドのポイントが後に影響し合計30ポイントで2連覇の夢がここで消えてしまった。

注目の仲本はちべえチームは、セカンドラウンドまさかの0ポイントとファーストラウンドトップを生かせず悔しい結果となった。

決勝へ進出したのは6チームとなり、6チーム間のポイント差は、僅かの6ポイントと全てのチームに優勝の可能性がある展開となりました。



激戦を制したのは、予選ラウンドを安定したゲームでトップ通過を果たした平岡正浩&百子チームが予選6位から追いつけた榎裕博&銀次郎チームを僅かに振り切り優勝に輝きました。



■フリーフライトチャンピオンシップ

全チームの約3分の1となる6チームが初出場、それに、中堅・ベテランチームを加え、16の個性あるチームが出揃ったフリーフライトのチャンピオンシップ。

そば降る雨の中、規定演技のショートプロ

グラムと、自由演技のフリープログラムが行われました。

日頃の練習や予選大会のように自分達の演技が充分に出せなかったチームも見られましたが、120秒間、最後まで愛犬のために動き、技を披露する選手達が印象に残った展開となりました。

今回3度目の日本一を目指す澤幹子&綺羅チームは、安定感とスピード・キレで勝負。昨年準優勝の渡邊賢次&CONNYチームは、技術とパフォーマンスが売りの実力チーム。又、澤選手は、AILAとのコンビでも優勝を狙います。

結果は、澤幹子&AILAチームが、躍動とパワー溢れるプレーで魅了し、渡邊賢次&CONNYチームを僅差で押さえてフリーフライトチャンピオンシップを制しました。

澤選手は3年連続、愛犬AILAとは初となる栄光を勝ち取りました。



■ユースオープンの部



年間予選会の個人の闘いにプラスをして、団体戦の醍醐味を味わうことができるのが、ジャパンファイナルならではのユースオープンの魅力。

2011年度ジャパンファイナル団体戦の部には16都道府県がそろい、都道府県ごとに編成された5チームの合計ポイントで争います。そして、決勝ラウンド進出権3枠を目標に、各ペアがチームに貢献できるように、予選ラウンドでの高ポイント獲得を目指します。

個人戦の部では、予選2ラウンドのトータルポイントで入賞を決めることになります。しかし、個人戦を争う全ノミネート数は、団体戦の規定チーム数に及ばなかった都道府県からのチーム35チームも加え、総数実に115チーム。個人戦の優勝は、1/115の確率となる狭き門となります。

天候は雨。風は強くはありませんが、横風となるコンディションは選手を悩ませます。115チームが1ラウンドにかかる所要時間は、おおむね3時間30分。始まりと終わりでは、風の状況など、コンディションが変わってしまうのが常ですが、本年度は、さほど時間の経過と共に変わる状況の変化は見られず、ほぼ、イコールコンディションで決勝ラウンドを迎えました。

予選を制して決勝進出を果たした都道府県は、予選トップの東京Aチーム（190P）。第2位 福岡チーム（172P）。第3位 愛知チーム（169P）の3府県。

決勝ラウンドにおいても、いや、決勝だからこそ、チームのために少しでも高ポイントを…、そんなプレッシャーからか、各ペアとも、非常に熱のこもったファイナルラウンドが展開しました。

そして、この闘いを制したのは、予選トップの東京Aチーム。5チームの助け合いの成果が予選から現れていたのでしょう。ポール・トゥ・ウィンで優勝の座を勝ち取りました。

個人戦の部では、2ラウンド合計ポイント58ポイントと安定したプレーで、大阪府の近藤功二&フェルチームが見事優勝。そして2位・3位は大接戦。第2位にトータル53ポイントで島本富生&Larkチーム。わずか1ポイント差の第3位にトータル52ポイントで片岡千賀子&ヒロチームでした。



■こどもの部

しなやかなフォームでfrisbeeが真っすぐに飛んで行く。素直さと無心の意欲が持ち前のこども達。

「何でこんなに上手なの？」と多くの大人達も感心する程ハイレベルな戦いとなった、今回のジャパンファイナルこどもの部。

高学年の部は、第2ラウンドに1投ミスはありましたが、決勝では見事に全投キャッチの46ポイントをたたき出した中村優斗&Charoチームが、小学生最後の年に、念願の初優勝を果たしました。



低学年の部は、昨年度のチャンピオン八幡琳珠&WINチームが2ミスもありながら、何とか予選首位をキープ。決勝でも30ポイントを獲得し、見事に2連覇を達成しました。



高学年・低学年共に年間ランキング1位チームがポール・トゥ・ウィンとなったこどもの部チャンピオン決定戦でした。



JAPAN FINAL 2011 in 兵庫淡路島

■シニアドッグの部

愛犬といつまでも楽しみたい。フリスビーが好きだから、いつまでもフリスビードッグを楽しませてあげたい。という気持ちは、どのオーナーさんにもあると思います。

7歳以上になり、体調を考えつつ、その年齢にあった楽しみ方をするのもフリスビードッグの遊び方の一つだと思います。ジャパンファイナルにノミネートされた22チームは、この楽しみ方を知り、1年間プレーしてきたチーム達の頂点の一角なのです。

予選2ラウンド上位5チームが決勝ラウンドへ。運命の第1ラウンドは、強風とまでは言えないものの、各チーム意識しすぎてか、なかなかポイントにつながりません。



第1ラウンドのゲーム開始後10チームを過ぎようとしていたところ、増田健&虎之助チームが26ポイントと、この日初の20ポイント台後半の

スコアをマーク。これに触発されてか、第1ラウンドも後半になり、30ポイント台をマークするチームが5チーム現れ、一転して第2ラウンドの高ポイント勝負を予想させる展開となりました。

第1ラウンドで30ポイント台を出した5チームは、第2ラウンドも順当にポイントを重ね決勝ラウンドへ。そして、第1ラウンドでゲームを動かした増田健&虎之助チームも粘りを見せて、決勝ボーダーラインタイで決勝進出を果たしました。

決勝ボーダーラインは52ポイント。シニアドッグにとっては、このポイントは高ポイント。決勝ラウンドへの門は狭き門となりました。



予選トップ通過は、京都の強豪 宮迫裕二&TRADチームで65ポイント。次いで予選第2位には、僅かに1ポイント差で詰め寄っている、和田陵太郎&Ruberチーム。第3位には、歴代シニアドッグ日本一でもある安田伸之&ガーフィーチームが59ポイント。第4位通過に小林郁夫&ウィンベルチームで56ポイント。第5位・第6位通過は52ポイントで増田健&虎之助チームと中川剛彦&凜子チームが並び、以上の6チームでの決勝対戦となりました。

決勝ラウンドの幕開け、トップバッターは中川剛彦&凜子チーム。後続を脅かしたところでしたが、決勝ポイントは25ポイント。トータル77ポイントで、後続チームにプレッシャーはかかったのが微妙なところ…。

しかし、この微妙さが功を奏したのか、予選トップ通過の宮迫裕二&TRADチームを迎えるまで、トップの成績を維持する結果となりました。

そして、宮迫裕二&TRADチームの決勝ラウンド。

風の影響があっただけ距離が伸びない状況の中、3投目まではミドルエリアでノーミス。ここまで、ジャッジの手元計算では、中川剛彦&凜子チームに並ぶ77ポイント…。

そして4投目に痛恨のミス発生!! 勝敗は最終スローに纏れ込みました。

運命の最終スロー、実力者宮迫裕二選手の手元から放たれたフリスビーは、前半成功のキャッチポイントエリアをひとつ伸ばしてのキャッチ成功。

最後までヒヤッとさせましたが、見事シニアドッグ日本一に輝いたのは、宮迫裕二&TRADチームでした。

なお、宮迫選手のウィニングラン終了後、和田Ruberチームと小林ウィンベルチームによる3位・4位決定戦が行われ、表彰台への切符を手にしたのは、和田陵太郎&Ruberチームでした。

決定戦終了後、コート出口で小林選手が和田選手を出迎え、互いの健闘をたたえあい、がっちりと握手を交わすお二人の笑顔が印象的でした。



ペアの部



毎年、ペアの部日本一決定戦は、高ポイントでのつば迫り合いが見られます。

決勝へ進むチームのポイント差はあまりなく、決勝ラウンド次第での優勝決定が見所です。

年間における予選会同様に、ジャパンファイナルでも決勝進出権を得るための予選は1ラウンド勝負。ここ一発にかけるチームが勝利を導くといっても過言ではないでしょう。今年もノミネートを受けたのは強豪チーム揃い。2人と競技犬1頭で競技を行うペア大会ならではの、コンビネーションプレーが見られます。

予選ラウンドの開始。各チーム、高ポイントを見据えての緊張あるプレーを行います。その歯車が合うチームと合わないチームの差がポイントに大きく現れます。

風のコンディションは悪くはない状況の中で、40ポイントあたりをマークするチームが続出。「この辺りが決勝ボーダーか？」というささやきが聞かれる中で、予選ラウンドは続きます。

その中で、一つ頭を出したのは52ポイントで八幡瑛茉・島本圭悟&DIESELチーム。予選トップでの決勝進出となりました。

それに続いたのは、4ポイント差の48ポイントで西山いずみ・西山哲也&サリーチーム。そして、42ポイントで古野智子・八幡誠&schumacherチーム。41ポイントで清田真里菜・鎌田義明&RIZEチーム。38ポイントで石川麻紀・浅田潤也&Markチーム。1位から5位までの差は14ポイントと、今年度はやや開きがある決勝ラウンドとなりました。



そして、迎えた決勝ラウンド。

トップバッターは、下位からプレッシャーを掛けることが出来るかの重要なポジション。石川麻紀・浅田潤也&Markチームがその役目を担うこととなりました。

そして、決勝ポイントは2ミスありながらも30ポイントをマーク。結果的には、予選第1位の出番を残したところまでの時点で、後続のチームを脅かす存在となり、ここまですべての成績。

残すは予選トップの八幡瑛茉・島本圭悟&DIESELチームただ1チーム。

しかし、予選段階でのアドバンテージは十分。優勝を確定させるのには17ポイント以上という楽勝ムードが漂います。共にロングスロワーな選手だけに、一投一投の破壊力は抜群です。

8P-6Pと順調な滑り出しと思いきや、3投目にミスが入るというヒヤとする場面を見せながらも、その後は順調にポイントを積み重ね、決勝ラウンドポイントは38ポイント。

結果、第5位からジャンプアップしてきた石川麻紀・浅田潤也&Markチームに22ポイントの大差をつけ、見事優勝を果たしたのでした。



2011年度表彰式典

今年度も100人以上のご参加をいただいた表彰式典。各競技の年間チャンピオンをはじめ、連続出場や高ポイント記録などの表彰が行われました。

連続出場では 松尾至&NOVA チームがグランドチャンピオンシップ「9年連続出場」を果たし、福尾光一&GOKOO チームと、レディースチャンピオンシップ優勝を果たしたばかりの菊地敦子&珊瑚が、MIP（年間を通して最も成長したプレーヤー）に選ばれました。

中には、新人賞を受賞した関西の某ベテランプレーヤーに、「新しいのは犬だけやんけ〜!」と鋭い突込みも飛び交う中、拍手と声援、そして、皆さんの笑顔で大いに盛り上がったひとときでした。





JAPAN FINAL 2011 in 兵庫淡路島



レディースチャンピオンシップ

優勝 菊地敦子&琥珀

今年はいろいろな事がありました。義父の急逝、琥珀の誤飲による手術と入院、そしてあの大震災。



震災後、私達の地域は被害が少なかったもののあまりの事の重大さに、大会に行ってもいいのかわかりませんでした。そんな時、「行って来て！そして元気を分けて！」の仲間の一言が、どれだけ勇気を与えて貰った事か…。今回の琥珀の活躍で東北の人

達が少しでも微笑んでくれたらこのうえない喜びです。

琥珀と私は今回のファイナルで5回連続出場になります。

私達のディスク生活は、琥珀と始まり、そして一緒に成長して来ました。友と呼べる仲間との出会いの架け橋になってくれた琥珀。ゲームの楽しさ、難しさを教えてくれ、どんな時も全力でディスクを追いかけ、決して諦めない琥珀。そんな諦め知らずの琥珀が2年連続で決勝進出を果たしてくれて、更に優勝をしてくれるなんて夢のようでした。そして今回のゲームは今まで琥珀と目指していた理想的なゲームでした。決して派手なゲームでは無いのですが確実に5投を投げる。そんなゲームをこの大きな舞台でできた事が何より嬉しく、琥珀の持ち得る全ての能力を引き出すことが「やっとできた」気がします。

シーズンを通して、私達を応援してくれたスタッフの皆様、たくさんのアドバイスをしてくれる諸先輩達に心から感謝致します。そして週末毎に集まり、一緒に切磋琢磨し成長して行く家族のような仲間達と、移動のほとんどを運転してくれて一番近くで私を応援してくれる主人に感謝です。

最後に、私を2年連続優勝に導いてくれた琥珀と珊瑚。いつも一緒にいて癒してくれる虎徹。これからもずっと一緒に楽しんで行こうね。



スモールドッグチャンピオンシップ

優勝 平岡正浩&百子



最初に、JFAスタッフの皆様、参加者の皆様 2011シーズンお疲れさまでした、そしてありがとうございました。

2010 シーズンは妻のサポートにまわり百子のゲームを客観的に見ることが出来ました。幸運にも年間チャンピオンと2010 ファイナルではスモールドッグの部3位を獲得してくれました。

2010 ファイナルは雨で地面が田んぼ状態であり百子の最も苦手な状況でした。しかしそんな状況でも百子は一生懸命走ってくれ愛おしく感謝の気持ちで一杯になりました。

そんな百子と今期は1年ぶりにペアを組みました。1シーズンゲームしなかった僕はスローもボロボロ、なにやってんだ？って言うゲームが続きました。

しかし百子はそんな僕をフォローし支え続けてくれました。シーズン当初身重の妻の代わりに十夢と卑弥呼ともペアを組んでいましたが、一向に定まらないスローに悩み…必死に練習しましたが良くならない状況でシーズン後半を迎えた頃、ふと妻に言われました。

「百子を日本一にするために百子の為のスローを集中して練習しようか」と。

不器用な僕は百子に専念する事を決めました。百子を日本一にする事それだけを目指して絞りました。この決断が今思えば運命の分かれ道だったのかもしれませんが。百子と自分にできる事を考え、残りの時間をゲームの組み立てやスローの距離感を調整することに専念しました。

最終戦までそれは出来たり出来なかったり…そして迎えた2011 ファイナル。とにかく後悔の無い様に自分と百子らしいゲームをする、この1点に集中することを心がけました。

でも、やっぱりファイナル…僕のスローは右へ左へ、それを百子は果敢にもキャッチを続けてくれ、USアウトが1本ありましたが百子は全てをキャッチしてくれました。そして、ずっと目標だった百子をスモールドッグチャンピオンにする事が出来ました。

ウィニングランの後、小型参加の多くの男性陣に胴上げしていただき嬉しくて、幸せでした。

最後になりましたが、家族と仲間達に支えられて今があります、本当に本当にありがとうございました。





フリーフライトチャンピオンシップ

優勝 澤 幹子 & AILA

2011 年、お疲れ様でした。

悔しい反面嬉しい、そんな気持ちがとても複雑に入り交じった状態で試合に臨んでいたと今振り返れば思います。

7 歳になった綺羅は 2012 からはファイナルを目指さず楽しく遊ぶ事にしていました。

これが最後のファイナル。

メインでは出場しませんでした、持ち前の頑張りではやはりシーズン最後には AILA を抜いてランキングトップへ。

けれど、若干 2 歳の AILA にはシーズン中負ける事も増えました。

長年やってきた綺羅の最後のファイナルを有終の美で飾りたい。

とはいえ AILA とはこの一年でお互いの気持ちの距離が減り、私の気持ちに必死で応えてくれているのがとても伝わって居ました。

昨シーズン中、AILA が寂しい思いをしていたのも痛い程分かっていました。

ファイナル当日。

雨と風。土も柔らかくなっている。あまり飛ばせると危なく感じる。

出番は AILA が先。綺羅は最後。

自分の出来るベストをどちらにも尽くそう。

1 ラウンド終わって、AILA と綺羅の差は 16 点程度。この程度ならまだいける。

すぐに自由演技が始まる。



AILA、今迄プレーした中で最高に良い。私がどうして欲しいかを懸命に考えてミスしないようにしている。

3 ミス。

綺羅。

オペラ座の怪人の音が耳に入る。泣けて来た。

とうとうこの日がやって来たね。もう十二分に頑張ったね。苦しい練習にも付き合ってくれた。

綺羅とのオペラ座の最終章。今迄本当に有難う。

納得いく内容では無かったけど、2 ミス。

結果、AILA が優勝、綺羅は三位でした。

二頭とも頑張ってくれて有難う。何時も私の趣味に付き合ってくれてファイナルに連れて行ってきて。

綺羅、ごめん。三連覇出来なかったけど、本当に本当に頑張ってたね。

その代わりに ARD がユースオープン優勝してくれたよ。

AILA、有難う。

アイラが我が家にやってきてくれて。初めてボール遊びをした時に身体能力の素晴らしさに驚き、何時か綺羅を抜く日が来るのではと感じました。

家ではまだまだ子犬で何時も暴れてるアイラ。私の気付かない間に頼もしいパートナーに育ってくれていたんだね。私を心から信じてくれて力いっぱい頑張ってくれてたね。

応援してくれた友人、家族。有難う。皆の声がコートの人に届いたから普段通りに演技出来ました。

そして、コニー、ソフィア、グローリー、天天。

何年も同じコートで精一杯演技して、ライバルに恵まれて綺羅は本当に幸せでした。

良きライバルが居たからこそ、自分も成長出来たし、お互い切磋琢磨出来たと思っています。

スタッフの方々。有り難うございます。犬達とともに私をここまで育てて頂いて、評価やアドバイス頂く事が出来て懸命に前を向いて頑張れたと思っています。

SID、ごめんね。SID もファイナル出たかったよね。来年は一緒に頑張ろう。

澤綺羅チームをを 6 年間応援して頂いて本当に有り難うございました。そしてこれからも AILA や SID 達と頑張りますので宜しくお願いします。





JAPAN FINAL 2011 in 兵庫淡路島



シニアドッグの部

優勝 **宮迫裕二 & TRAD**

今年のJF参戦は、我が家にとって特別な意味を持つものでした。

必然的に世代交代を余儀されるなか、IVY・TRAD・RALPHの親子三頭での最後になるであろうJF参戦、そして母親GRASSへの吊いを持つもので、何らかの形のあるものを是非、残したい気持ちで参戦しました。



ファイナル会場に向かう明石大橋から見える海は穏やかで、この風景を今まで幾度も見てきましたが、この日は特別美しく、昂ぶ気持ちを落ち着かすことが出来ました。そして、車の中で3頭のワンたちに、「目標は大きく、気持ちは謙虚に、精一杯頑張ろう」と話しながら会場に向いました。

そして、ついに長男 TRAD がやってくれました！

いつもひたむきで一生懸命、運動能力・スピード・集中力全て良いものを持っているのに、デスクを見ると人が変わった様にスイッチが…、そんな気性の激しさから上手くかみ合わず、また、飼い主の力不足でついて行けず「どうすれば？」と悩みつつ、7年の歳月があっという間に過ぎました。

やっと8年目になり、TRADとゆっくりつきあっていくうちに、コンビネーション・コミュニケーション等大事なことが見えてくる様になって、お互いが落ち着いてフリスビーに向かい合え、今回の結果に繋がったんだと思います。

「TRADのJFAシニア大会優勝、TRADよく頑張りました!!」一番応援し喜んでくれたのは、空の上から見守ってくれた、GRASS母さんだと信じてやみません。

IVYと歩み始めたフリスビー、来年で13年目のシーズンを迎えます。怪我をしない様に、親子3頭で楽しんで行ければと思っています。

最後になりましたが、大会参加の際にお世話になり、また、応援していただいた方々にこの場を借りて感謝申し上げ、参戦記といたします。「ありがとうございました。」



ペアの部

優勝 **八幡瑛茉 島本圭悟 & DIESEL**



ここで宣言しておこう！「僕は、ここ1番に弱い。」

今回のペア大会決勝も周囲に悟られないようにしていたが、朝から内心ドキドキしていた。個人戦なら自分一人の責任だが、ペア大会は違う。

しかも、僕の相棒はBeakではなく、DIESEL。昨年、年間チャンピオンになったものの、グランドチャンピオンにはなれず…。犬1匹に人間2人、勝手が違う。リズム、タイミング、性格…当たり前だが、Beakの扱いやすさを実感した。

Beakとは7年間共に戦ったという信頼がある。しかし、今回の相棒DIESELは僕の緊張を察し、フォローしてくれるわけではない。Beakなら『お兄ちゃん大丈夫だよ。オイラががんばるから』なんて、泣ける言葉をかけてくるが(かけてくれていると信じたい…(笑))

ペアを組んで2年のDIESELとは、まだその信頼関係はない。外せば冷たくあしらわれる(— —)!!

ペアを組んだ瑛茉ちゃんとは戦友でもある。とは言っても、若干〇〇歳！僕と一回り以上も違うのに、度胸がある。余裕たっぷり落ち着きすぎている。

僕とはというと、先にも言ったが心臓バクバク。

こんな時はPaulに慰めてもら…おう…と思ったが、気持ちよさそうに眠っている。なんて幸せそうな奴なんだ。その余裕、僕にも欲しい。

あっちへウロウロ。こっちへウロウロ。緊張がほぐれないまま始まったペア大会決勝。言うまでもなく、コートに入る前から頭真っ白。きっとたくさんの方に声をかけてもらったに違いない。しかし、記憶にない(笑)

1投目、予選では1本外しているので、この時点で手は震え緊張はMAX。頼む！取ってくれ!! DIESEL、ナイスキャッチ!!

ほっとした。しかし、頭は真っ白。2投目、3投目…緊張はほぐれていった。しかしあまり覚えていない。

気がつけば、ぶっちぎりで優勝。

てっぺんとったど〜!!

やるからには取りたいと思っていたタイトル。来シーズンも、ペア大会で戦い頂点を目指したい。そう思ったシーズンだった。

今シーズン応援してくれた皆様、本当にありがとうございました。来シーズンもご声援よろしくお願いします。

島本 圭悟



こども(高学年)の部

優勝 中村優斗&Charo



今年は、ファイナルで優勝することを目標にスタートしました。

3月11日に東北地方を襲った大地震が起きた時は、すごく怖かったです。JACK や Charo は、余震が起こるたびに怯えるので、もうディスクができなくなるのではないかと不安になりました。

でも震災後の大会で最初の一投をキャッチしてくれた時、とても安心しました。

11月6日、待ちに待ったファイナルがやって来ました。開会式までは緊張していなかったけど、自分の番が近づくにつれて、だんだん心臓がバクバクしてきました。

1ラウンドの1分間はあっという間に過ぎていました。2ラウンドは、決勝に行く事を意識しすぎてちょっと力んでしまい、1投さしてしまいました。

決勝では、向かい風だったのでうまく投げれるかどうか不安でしたが、余計なことを考えずに力まないで投げるように頑張りました。

諦めずにプレーしたことが優勝につながったと思います。

今までいろいろとサポートがあって、優勝することができたと感謝しています。

小学校最後に良い思い出ができました。今まで、本当にありがとうございました。



こども(低学年)の部

優勝 八幡琳珠&WIN

きょねんは、ファイナルでウインちゃんと、ゆうしょうできたので、今年もファイナルでゆうしょうできたらいいなと思っていました。

ウインちゃんががんばってはしって、たくさんキャッチしてくれたので、ゆうしょうできました。

おうえんしてくださったかた、ありがとうございました。



第18回 フリスビードッグ日本一決定戦

JFA SKYDOG CHAMPIONSHIPS

ジャパンファイナル

2011 in 兵庫淡路島

主催/日本フリスビードッグ協会

11 5 6
SAT SUN

後援

- 兵庫県
- 淡路市
- 淡路島観光協会
- 公益社団法人 KNOTS

特別協賛

- デビペット株式会社
- エコレーティング株式会社

協賛

- ニックベックア株式会社
- オスレ日本株式会社
- オスレジャパン株式会社
- 株式会社サマーグリーンエーション
- ブラックウッドジャパンコーポレーション
- 有限会社 神戸文庫
- 有限会社 谷尾商店

JAPAN FRISBEE DOG ASSOCIATION
http://www.frisbeedog.co.jp



JAPAN FINAL 2011 in 兵庫淡路島



ユースオープン(個人)の部

優勝 **近藤功二&フィル**

フリスビーをやっている犬を見たのが初めてでした。その時の衝撃は今でも覚えています。

その方からいろいろ教えて頂き、現在りんと共に JFA にお世話になっています。

当初、多頭飼いは考えていませんでしたが、フリスビーにのめり込んでしまい、2 年程前にフィルを迎えることになりました。

フィルのディスクデビューは2010年3月の三重松阪大会。

その後、割と順調なディスクドッグ生活でしたが、チャレンジからユースに上がるくらいから受渡しが悪くなり、この1年間は受渡しに非常に苦労しました。手の届くか届かない位のところでディスクをガチガチするのが恒例でした。

いろいろな方にアドバイスを頂き、1 からすべてやり直す事にしました。

コマンドの徹底、服従訓練を基本からやり直し、その結果、コート外ではだいぶ良くなったのですが、コートの中ではガチガチ君になってしまってます。

そんな中 FINAL を迎えたのですが、緊張の 1R 第1投を投げて”ナイスキャッチ！”

楽しそうに戻って来るフィルの姿を見ているとガチガチ君に見えたのは僕だけでしょうか？

しかし、なんと、スムーズに受渡ししてくれるじゃありませんか。

通常は FINAL という大舞台では、緊張するのですが、受渡しをスムーズにしてくれたので、嬉しくて 楽しくて 緊張する暇がなかったのが、いい結果が出たと思います。

結果 JAPAN FINAL は嬉しい事の連続でした。

ユース(個人戦)優勝 ユース(団体戦)3 位入賞 同体犬のユース3 位入賞。

最後に JFA のスタッフの皆様、1 年間お疲れ様でした。そして有難うございました。

又アドバイスを頂いた方々、声援を送っていただいた方々、有難うございました。

そして”チーム愛知”最高のメンバーに恵まれました。有難うございました。

来年も宜しくお願いします。



ユースオープン(団体)の部

優勝 **東京 A**

金子覚巳&ARD

ARD 2 歳 9 ヶ月 JFA 参戦は今年 2 シーズン目となった。今年もみんなの支えがあって 2 度目のファイナルコートに立つことが出来ました。まず、応援してくれたみんなにこの場を借りて改めて感謝の気持ちを伝えたいと思います。



2 年目となる今シーズン、ARD と私が掲げた目標はひとつ「去年の自分達を超える」課題は数え切れない程ありますが、一つ一つが ARD と私の楽しみであり、そしてクリアしてきた課題は 2 人の自信でもあり、次の課題へ向かう大切な糧となりました。

シーズンを終えた今、掲げた目標はシーズンポイントと 1 ラウンドベストスコアの 2 つで達成することが出来ました。これはいつも支えてくれ

た仲間とどんな時も一緒に頑張ってくれた ARD のお陰です。

そして迎えた 2 度目のジャパンファイナル。すごい緊張で向かっていたことを今でも鮮明に覚えています。そして結果は想像に難くない内容となってしまいました。

この時、シーズン戦で競い合ったみんながチームメイトであることを本当に心強く感じました。

1 ポイントでも多く、チームメイトのみんなへ戻りたいと強く想った決勝ラウンド。残念ながらこれも決して揮った内容とはなりません。それでもいつもの ARD と私に少しだけ戻れたゲームだったかもしれません。やはり “心を越える技術はない” そう強く感じたファイナルでした。

結果、チームメイトの活躍で私も優勝チームの一員になれたことを本当に嬉しく思います。歴代の諸先輩方と共に優勝旗に飾られる ARD と私の名前。これに恥じぬよう来シーズンも一緒に頑張ろう ARD !!

最後になりますが、今シーズンも本当にお世話になりました。来シーズンもどうぞ宜しくお願い致します。

薬科隆章&マチャマチャ

2011 年ジャパンファイナルユースオープンの部。一昨年のシオン、去年のマチャマチャに続き、今年もマチャマチャと出場できたこと、大変嬉しく思います。

我が家の目標は、今年もジャパンファイナル出場!!

シーズン当初、ジャパンファイナル出場計画を立てて臨んで来ましたが、シーズン半ばでマチャとのペア、シオンとの東京 B がなかなかポイントが伸びず、計画変更を余儀無くされました。

結果、マチャマチャと夫婦での東京 A・B での出場に落ち着きました。

今年のユースファイナルは、昨年の東京 A (準優勝) で足を



引っ張った汚名を返上すべく 5 試合の最低ポイント以上を出し、マチャマチャのキャッチ力を信じ、少しでも上位に食い込める様、意識して投げましたが距離が伸びず目的達成できずで予選 42 ポイント。

他の東京チームのメンバーも普段の実力が発揮できず、団体ラストスローのチームでありながら、決勝ラウンドに残れるか不安が過りましたが 190 ポイントでのトップ通過。マチャマチャと昨年のリベンジを誓い、我が家恒例のハイタッチをしました。

決勝ラウンド、「緊張感」「使命感」等、色々な思いが錯綜する中、私は案の定テンパリ、焦りが先行し、まともなスローが出来ずに 12 ポイントで終了し、他のメンバーに助けられての優勝でした。

今回のファイナルで一番強く感じた事は、ユースオープンならではの個人のチームでは表彰台に上がれなくても、団体の力で表彰台のトップに立てる楽しさを実感できたことです。

最後に、この大会を運営している本部スタッフの皆様、地方大会を運営しよきアドバイスをして頂ける支部スタッフの皆様、団体優勝に導いて頂いた東京 A チームの仲間達、有難うございました。

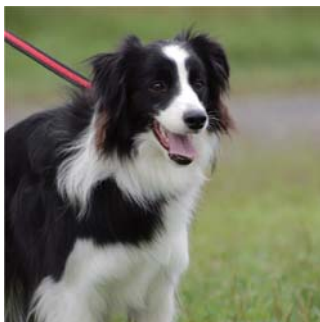
そして、今回、特にお世話になった関西オウシー軍団の皆様、アドバイス・応援等、多方面に協力して頂き、本当に有難うございました。

シオン、マチャマチャ、来シーズンもエンジョイ・フリスビー！
楽しもう！！

佐野貴敏&烈火

「烈火との出会い」それが我が家にとってディスクドッグ競技との出会いでもありました。

長い闘病生活の末、5 歳という若さで先住犬を亡くした悲しみから、不幸せな子を幸せにしたいという思いから某保護団体より烈火を迎え入れました。



そんな烈火との面会が JFA の大会会場でした。そうです保護された烈火の一時預かりをさせていただいていた仮母さんがプレーヤーだったのです。

その大会会場の雰囲気、犬との信頼関係の素晴らしさにすっかり魅了され、この子(烈火)にもこんな事ができるのか？やってみたい、と思ったのが烈火 1 歳 2 か月の時でした。

2009 シーズン途中よりレトリブ大会から参戦しはじめ 2010 シーズンのジャパンファイナルに何とかユース東京 B チームでノミネートいただきました。

その際に体験した「ジャパンファイナル」での胸の鼓動が高まる思い。「来季は必ず A チームとして参加したい」という気持ちで挑んだ 2011 シーズン、なんとかノミネートいただきました。

通知をいただいた時には、これまで親身になってご指導いただいた方々、家族、そして一生懸命がんばった烈火に感謝の気持ちでいっぱいでした。

当日はあいにくの雨模様でしたが、気持ちは晴れ晴れしておりました。ここへこれた喜びからでしょう。

目標はもちろん団体戦優勝です。チームのメンバーの日々の素晴らしいプレーは知っています。「我がチームがミスらなければなんとかなる」と、心を落ち着かせ挑みました。

結果見事優勝でき思い出に残る素晴らしい大会でした。

チームメイトとの絆も深まり団体戦の醍醐味を満喫した一日でした。

また、全国のトッププレーヤーの競技を見させていただき、いつの日かまたこの晴れ舞台にと心に誓い淡路を後にしました。

最後になりますが、スタッフの皆様、プレーヤーの皆様今年一年ありがとうございました。来シーズンも烈火・花恋ともどもよろしく願いいたします。

福田吉宏&アーシュ

スタン、テノンに続き、3 頭目のアーシュが我家に来たのは 2 年前ことです。

先住犬の雄 2 頭を引き連れて、アーシュはいつもリードがピンと張りっ放しの状態でネコを探したり、隙を見せている犬には吠えたりとお転婆の域をこえています。



そんな兄達と違うアーシュの成長にあらぬ期待をしながら今シーズン、私はユースオープンに、そして妻はレディースで大会に参加してきた結果、幸運にも二人ともファイナルへの参加権を得ることが出来ました。公式で活躍されている方々には遠く及びませんが、全くのインドア派だった自分も大会に参加し始めて数年掛りでやっとスローが犬の能力に追付いてきたのかなと思えてきました。

しかしながら、ファイナルでは 1R、2R、FR と全く良いところ無しで東京 A チームの足を引張り続けてしまったことを申し訳なく思うと同時に、私とアーシュの得点に関係なく優勝に導いてくれたチームメイトの皆様に感謝です。

結果オーライではありますが、ゲーム中に撮って頂いた写真(チャンプ家ありがとうございます)を見てみてもアーシュがこの上なく楽しそうで、とてもうれしく思っています。

いつも声を掛けて応援して下さいの皆様、本部スタッフの皆様、そして一緒に投げ練してくれる皆様、ありがとうございました。これからも、緊張感を保ちつつも楽しんでいきたいと思います。

増田 健&虎二郎

我が家にとって、今年のジャパンファイナルは、とても思い出深い物となりました。

1 年前のジャパンファイナルが終わったの 10 月末、我が家



の虎之助の息子、虎二郎を 2 ヶ月齢で、我が家に迎え入れてちょうど 1 年、虎之助・虎二郎と親子犬でのジャパンファイナルノミネートがかない、尚且つ東京チームの皆様のお陰で、ユースオープン団体戦優勝という、嬉しい結果となり、2011 シーズンのとても良い締め括りとなりました。

2012 シーズンも、虎之助・虎二郎親子で、このステージでプレー出来ることを夢見て、まだまだ、色々課題のあるコンビですが、楽しんでいきたいと思います。



JAPAN FINAL 2011 in 兵庫淡路島

●グランドチャンピオンシップ 決勝進出者

順位	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	渋谷 功	疾風	岡山県	ボーダーコリー	122
2	須貝ひとみ	Lien	岐阜県	ボーダーコリー	120
3	須貝 信也	Lien	岐阜県	ボーダーコリー	118 (EX)
4	三本 欽麗	Pallas Athena	茨城県	ボーダーコリー	118 (EX)
5	谷越久仁夫	環菜	岩手県	ボーダーコリー	110
6	和田陵太郎	Diana	福岡県	ボーダーコリー	108
7	松尾 至	NOVA	長崎県	ボーダーコリー	94

●スモールドッグチャンピオンシップ 決勝進出者

順位	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	平岡正浩	百子	奈良県	柴犬	67
2	榎 裕昭	銀次郎	大阪府	ミックス	62
3	藤田 浩子	マイロ	奈良県	ジャックラッセル	59
4	福原 芳郎	ミミ	兵庫県	ジャックラッセル	51
5	城戸 英二	みみ	熊本県	W.コーギー	48
6	山本 憲 齊	我闘	兵庫県	W.コーギー	44

●シニアドッグの部 決勝進出者

順位	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	宮迫 裕二	TRAD	京都府	ボーダーコリー	83
2	中川 剛彦	凜子	広島県	ボーダーコリー	77
3	和田陵太郎	Ruber	福岡県	ボーダーコリー	74 (EX)
4	小林 郁夫	ウィンベル	広島県	Aシェパード	74 (EX)
5	増田 健	虎之助	東京都	Aシェパード	70 (18)
6	安田 伸之	ガーフィー	神奈川県	ボーダーコリー	70 (11)

●こども(低学年)の部 決勝進出者

順位	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	八幡 琳珠	WIN	兵庫県	ボーダーコリー	102
2	富 恵 圭人	あんず	福岡県	ボーダーコリー	79 (EX)
3	古野捷之佑	schumacher	兵庫県	ボーダーコリー	79 (EX)

●ユースオープン(団体)の部 決勝進出者

順位	住所	氏名 & 犬名	ポイント
1	東京 A	福田吉宏 & アーシュ : 佐野貴敏 & 烈火 : 金子覚巳 & ARD : 薬品隆章 & マチャマチャ : 増田 健 & 虎二郎	280
2	福岡県	田口京介 & フレイヤ : 麻生来希 & AQUA : 竹内敏洋 & Alex : 石松貴夫 & クラウド : 川嶋久美 & スワン	246
3	愛知県	伊奈祐次 & グラン : 近藤功二 & フィル : 金子 勝 & 錠 : 市原貴恵 & DINO : 高橋久里子 & cheburashka	240

●ユースオープン(個人)の部 入賞者

順位	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	近 藤 功二	フィル	愛知県	ボーダーコリー	50
2	島 本 富生	Lark	徳島県	ボーダーコリー	53
3	片岡千賀子	ヒロ	香川県	ボーダーコリー	52

●レディースチャンピオンシップ 決勝進出者

順位	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	菊 地 敦子	琥珀	青森県	ボーダーコリー	90
2	西前まな美	SUN	熊本県	ボーダーコリー	84
3	松 尾 直美	AERA	長崎県	ボーダーコリー	83
4	木 田 和 夏	Little Navajo	大阪府	ボーダーコリー	82 (2R)
5	八 幡 瑛 菜	DIESEL	兵庫県	ストロングアイ	82 (2R)
6	高 橋 純 代	Iris	神奈川県	ボーダーコリー	82 (エア)
7	高 桑 真 紀	B	大阪府	ボーダーコリー	80
8	谷 越 雪 絵	環菜	岩手県	ボーダーコリー	74

●フリーフライトチャンピオンシップ 入賞者

順位	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	澤 幹 子	AILA	大阪府	ボーダーコリー	220.9
2	渡 邊 賢 次	CONNY	茨城県	Aシェパード	209.7
3	澤 幹 子	綺羅	大阪府	ボーダーコリー	198.2

●ペアの部 決勝進出者

順位	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	八幡瑛菜・島本圭悟	DIESEL	兵庫県	ストロングアイ	90
2	石川麻紀・浅田潤也	Mark	神奈川県	ボーダーコリー	68
3	古野智子・八幡 誠	schumacher	兵庫県	ボーダーコリー	66
4	西山いづみ・西山哲也	サリー	兵庫県	ボーダーコリー	62
5	清田真里菜・鎌田義明	RIZE	福岡県	ボーダーコリー	61

●こども(高学年)の部 決勝進出者

順位	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	中 村 優 斗	Charo	宮城県	ボーダーコリー	132
2	三 浦 麟	らん	青森県	ボーダーコリー	119
3	柏 原 璃 菜	ACUTO	大分県	ボーダーコリー	80



11/13

兵庫但馬

実に 110 チーム以上が集まった今回の「チャレンジカップ in 兵庫但馬」。

会場となった但馬ドーム内では、地元グルメの祭典『但馬まるごと感動市』が開催され、たくさんのギャラリーに囲まれて、お祭りムードの中、和気あいあいとした雰囲気で大大会は進行しました。

しかし、いざ競技になると、各チームとも自然とヒートアップ！ これまでにない、ハイレベルな競技が繰り広げられ、ジャパンファイナルに負けない盛り上がりを見せました。

●チャレンジクラス

順位	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	中西香里	ふあん太	大阪府	ボーダーコリー	88
2	辻元敏宏	レピオス	兵庫県	フラットコートテッド	82
3	中畑祐二	BEAT	愛知県	ボーダーコリー	76
4	松野美江	Merci	三重県	ボーダーコリー	61
5	北中泰生	カガリ	滋賀県	ボーダーコリー	60

●レトリブクラス

順位	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	辻際清一	Samantha	兵庫県	ボーダーコリー	129
2	斉藤裕子	Serieux	兵庫県	ボーダーコリー	123
3	中西敏夫	ふあん太	大阪府	ボーダーコリー	107
4	宮永青空	橙	兵庫県	ボーダーコリー	107
5	上田光子	桜子	兵庫県	ゴールデン	105
6	中川ゆかり	アレス	滋賀県	シェルティ	103

●小型犬クラス

順位	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	中川ゆかり	レイ	滋賀県	シェルティ	54
2	甚口恵子	EVIS	大阪府	トイプードル	43
3	津田逸朗	小太郎	大阪府	ジャックラッセル	41
4	安達朋宏	りき	愛知県	Wコーギー	36

●トライアルボール OPクラス

順位	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	奥田浩史	沙羅	大阪府	ミックス	109
2	打越義之	つくし	滋賀県	ラブラドル	108
3	中川ゆかり	アレス	滋賀県	シェルティ	100

●トライアルボール SDクラス

順位	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	小西由知	ひなた	大阪府	マルチーズ	80
2	奥田浩史	世那	大阪府	ミックス	69
3	大橋雅人	K T	神奈川県	パピヨン	63

●トライアルボール SSクラス

順位	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	小西由知	ひなた	大阪府	マルチーズ	113
2	大橋雅人	K T	神奈川県	パピヨン	110
3	柳本英幸	しんしあ	大阪府	パピヨン	78



CHALLENGE CUP 2011

11/23

茨城つくば

2011 年度最後の公式行事となる「チャレンジカップ in 茨城つくば」は、好天に恵まれた中 選手入場・開会式と和やかな雰囲気での運びとなりました。

メダル授与式の際、緊張していた選手も一声かけたら笑顔を取り戻したようでした。

ゲームでは結果を残せたチームも、あと少し頑張れば…というチームにも惜しめない応援と拍手が送られた 1 日となり、大盛況の中 2011 年度が終了となりました。

●チャレンジクラス

順位	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	有馬智津子	Chappy	埼玉県	ボーダーコリー	100
2	湯本紀子	ルディ・エクレール	栃木県	ボーダーコリー	96
3	山本聖文	クワン	千葉県	ゴールデン	92
4	今井照明	武蔵	埼玉県	Wシェパード	92
5	野上勝世	レナ	東京都	ボーダーコリー	67

●レトリブクラス

順位	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	大野幸二	来羅	東京都	ボーダーコリー	53
2	佐々木徹	大豆	神奈川県	ボーダーコリー	48
3	大野幸二	紅羽	東京都	ボーダーコリー	47

●トライアルボール OPクラス

順位	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	井上弘之	ゆふ	埼玉県	ボーダーコリー	60
2	谷栄一郎	ココ	神奈川県	ウィペット	57
3	平岡啓子	のあ	東京都	トイプードル	55



優勝 中西 香里 & ふぁん太

フリスビードッグというスポーツを知って、かれこれ 15 年近くになりますが、今回初めてチャレンジカップに参加することが出来ました！

但馬ドームは会場の芝もすごく綺麗で、ドームではイベントが開催され、地元の美味しい食べ物も沢山食べれて、大会以外にも盛り沢山の内容で丸 1 日楽しく過ごすことが出来ました。

帰りに食べた出石ソバも美味しかった～（●^o^●）

こんな素敵な会場を誘致してくださる関係者の方々に感謝致します。

大会の感想と言えば、長く続けてたらいいい事もあるもんやなぁ～と思いました。

結果なんて全然やのに、今まで続けて来れたのは、いろんな年代のお友達が沢山出来て、犬の健康面や食事の事を親身になって色々教えてもらったり、相談にのってもらったりや、大会に来たら友達ともいっぱいおしゃべりできて、ゲーム以外にも楽しみがいっぱいあったからやと思います。

ふぁん太と出会えたのも友達のご縁やし…。

投げもヘタッピなあたしが嬉しい結果が出せたのは、ひとえにおとーちゃん犬、おかーちゃん犬のいいとこいっぱい貰ったふぁん太の親孝行のお陰と、兄弟犬たちと一緒に参加できて、運動会みたいで、緊張もすることなく楽しめた事かなぁって思います。（兄弟犬が近くにいるのって、親戚が増えたようでホントに楽しいんです（^ー^））

ふぁん太の犬生はまだまだ始まったばかり、お留守番の時には毛布ガジガジするし、コートに入るまでにはひっぱりまくるし、まだまだフリスビー以外にも勉強することがいっぱい^_^;

人間も犬も共に成長していけるように頑張って（特に人間が）、これからも兄弟達と共に公式戦、シニアになるまで怪我のないように楽しみながら長く続けていけたらいいなぁと思います。



優勝 辻際清一 & Samantha

大会から一年ほど離れていましたが、休日と三木大会と重なったので、家から車で 10 分ほどのグリンピアへ家族で応援に行きました。

そして、あるテントの中に 8 匹の子犬がいました。その中チョコのごんたな女の子。それがサンコこと Samantha との出会いでした。

それから 9 月の淡路大会でレトリブとトライアルボールにデビューし、チャレンジカップの資格を得ました。

仕事を優先するか悩んだのですが、大会と但馬牛を選び、みごとレトリブ大会で優勝することができ、ハッピーな一日になりました。

人生でチャンピオンと呼ばれることはそうそう無いので、ウイニングランまでさせてくれた Samantha に感謝しています。

これからも楽しみながら上を目指したいと思います！

最後になりましたが、大会ではじいちゃん、ばあちゃん、兄妹犬…、応援してくれたみなさんありがとうございました。



優勝 中川ゆかり & レイ

チャレンジカップ in 但馬では皆さまお疲れさまでした。
当日は表彰式が終わっても優勝できたことの実感がなく、
近頃ようやく現実味をおびてきました。

レイとともにデビューしてからいつの間にか5年が過ぎ、
但馬では思いがけず大きな賞をいただきました。レイを家
庭犬として迎えた時は、まさか将来フリスビードッグにな
り、但馬にまで行くななんて想像もしてませんでした。

3歳を過ぎてから1つだけでいいから何かの賞がとれれ
ば格好いいなと思いたち、軽い気持ちでトライアルボール
デビューしました。一度優勝できればまた普段の生活に戻
るはずが、レイが会場でディスク競技を見て興味を持って
憧れたようで、家に帰っても「ディスクを投げろ！」の催
促三昧。ディスク競技のルールも知らないままレイの意欲
に引きずられる格好でディスクの世界にもお邪魔して、今
ではしっかりと私までディスクドッグ漬けになってしまひ
ました。

今回のチャレンジカップ直前には、獣医さんから硬いディ
スク使用禁止令が出てしまいました。レイが布ディスク嫌
いなこともあり、今までずっとプラスチック製ディスクで
出場してきたのに、いきなりヌノスピーに変更すること
になり焦りました。投げる私自身もヌノスピーって、どうや
って投げるのか戸惑いました。出場自体も考えさせられま
した。でも8歳にもなっていつ引退するかわからないしと出
場すれば、なぜか楽しげに走ってくれて、大きなトロフィー
まで持って帰ってきてくれました。今まで決勝にすらご縁
がなかったので、とても嬉しかったです。

応援してくれた皆さんありがとうございました。おかげ
で楽しくゲームができました。

次の目標は元気に9歳を迎えて会場を駆けること、そし
てヌノスピーを極めることです。

来年も出場できたら、レイともどもよろしくお願いしま
す。



優勝 奥田浩史 & 沙羅

ボールが大好きな沙羅は大会に出始めた頃、トライアル
ボールを熱心にやっていました。

しかしチャレンジカップに出場した事がなく、今回その
大会で良い成績を残せた事を大変嬉しく思います。

僕自身初めての「ウイニングラン」も経験させて頂き、
よい思い出になりました。

これからも、世那、沙羅、葉瑠とフリスビーやボールでいっ
ぱい楽しく遊びたいと思います。

本当に有難う御座いました。



優勝 小西由知 & ひなた

ひなたとの出会いは3年前。

フラッと立ち寄ったペットショップで可愛さのあまり
ママが一目惚れし愛玩犬として家族の一員となりました。

兄の佐助（ボーダーコリー）と生活を共にしていると自
分はボーダーコリーだと思い込んでる様子…。



そんなひなたは、お兄ちゃんの真似をしてディスクを追いかけて、特にボールが大好きになりました。

1歳くらいから大会にも出て、今回の西日本カップで3度目の出場になります。

もちろん大会に出るからには西日本カップで優勝できればと目標を立てていました。

でもまさか、2冠を取れるとは思いませんでした。

ひなた！よく頑張ったね！

ママにいつもツルッパゲに散髪されているので全くマルチーズに見えず、なんちゃってマルチーズと言われながらもめげずに楽しそうにボールを追いかけるひなた。そんなひなたと来シーズンも楽しく頑張りますので宜しくお願いします。

そして、応援して頂いた皆さんありがとうございました。また来期お会いしましょう！

兵庫但馬 トライアルボールドッグゲーム SSクラス

優勝 小西 由知 & ひなた

年に1度のビッグイベント。ひなたの為のお祭り♪

我が家のボール職人のパパと、ひなたが力を合わせて挑みました。

たかがボール。されどボール。

しかし、ボールは簡単そうに見えて実は奥が深い競技なのです。

小さなマルチーズのひなたがこの舞台に立つ事ができ嬉しく思います。

昨年は準優勝でかなり悔しい思いをただけに、今年の喜びは一段と大きなものになりました。これからも元気に楽しく一緒に参加していければと思っています。

そして、夏に不慮の事故で亡くなった大切な友人の為に優勝ができ本当に嬉しいです。

いつもコートの後ろでひなたの応援をしてくれていた友人。チャレンジカップの時にも応援してくれてたんでしょね。

ありがとう。

応援してくださった皆様本当にありがとうございました。これからも宜しくお願いします。



茨城つくば

チャレンジクラス

優勝 有馬智津子 & Chappy



CHALLENGE CUP を終えて今思うこと…。

2010年3月16日のお昼過ぎ、5頭兄妹の末っ子として誕生したchappy自力では産まれてくる事ができず、帝王切開でしかも仮死状態可哀想だけど仕方がないか…諦め半分で1時間病院の待合室で泣きながら溜息、ところが…、先生の手で蘇生！蘇ったChappy!!

産まれた時から神様に運を貰ったChappy。

仮死状態で生まれた子を人に譲るわけにはいかないからと、わがやにのこすことになった。

そして、去年12月つくば大会で兄妹達と一緒にチャレンジ大会でデビュー、Chopperとsolanの子ども達という事で沢山の人が応援してくれました。

6年間のディスク人生の中で本当に幸せな一日でした。

我が家で産まれた子ども達が元気にコートの中を駆け回る姿は、今でもしっかり目に焼きついています。

その後、2011年度の大会は、とうちゃんとコンビを組んで公式オープンへ、私とChappyのコンビは1年で2、3回だったかな？

そんな中で今回のCHALLENGE CUP出場権利、何と！兄妹全員の名前が！！こんなに幸せな事ってないんじゃないか。

結果はどんなことになろうと、出場を決意しました。

去年の暮れ、まさかの不慮の事故で亡くなってしまったお兄ちゃんLeoの為にChappyと頑張ろう！

そして、まるでドラマの様にゲームが進んでいった。

お姉ちゃんのルディと一緒に決勝に残ろう！1.2フィニッシュ出来たらいいね～何て言っていたらそのとおりにってしまった。

表彰式の時、今までのことを思い返し熱い物がこみ上げてきました、楽しい思いで、辛い思い出、嬉しかった事、悲しかった事いろいろあったけど、みんなありがとう。

最後に、素晴らしい感動と素敵な時間を与えてくれたチャラン子達に感謝、そしてこれからもよろしくね！

みなさん！お疲れさまでした～～～！



優勝 大野 幸二 & 来羅

今年の2月、縁あって我が家に迎えた来羅、さらに縁あって数カ月違いで来羅と同胎の紅羽も迎え、もうすぐ2頭とも1歳になろうとしています。

今シーズンはこの姉妹の育児に専念していたこともあり、大会会場の雰囲気などに慣らすために、数回会場にお邪魔させていただいたくらいでほぼ大会自体には参戦しておりませんでした。

彼女たちも10カ月を過ぎ、まだまだ成長段階ではありましたが、練習場所とは違う、広いコートの中でディスクを持って帰ってくる事ができるのか、不安ながらも参戦しました。

チャレンジカップに出場権利を獲得し、来羅で優勝、紅羽で3位と嬉しい結果を彼女たちがくれたような気がします。

正直、チャンピオンというには、程遠い内容、点数ではありますが、彼女たちが頑張って走ってディスクを持って帰ってきてくれた優勝トロフィーと3位のトロフィーを我が家の家宝として、飾ってます。

2012年シリーズもすでにスタートしています。飼い主共々、頑張って成長していこうと思います。

本当にありがとうございました。2012年もよろしく願い致します。



優勝 井上 弘之 & ゆふ

2011年11月23日、勤労感謝の日。この日ひろびんは朝から興奮を隠しきれなかった。「ゆふ！いい？今日はあたしとボールチャンになるんよ!!!」自信満々にそう話しかけると、慌ただしく荷物を車に積み込んだ。

つくばの会場はいつもと違うなかなかいい感じの雰囲気、DIZZYとディスクを始めた頃のようなのんびりとしたムード、芝生の色さえ鮮やかに見える。

ゆふを初めて大会に連れてったのは生後何ヶ月の頃だった？もう11年も前のことなので記憶も曖昧だが、磐田の会場でひろびんとトライアルボールに出場した。「今日は牛(ぎゅう)ちゃんと勝負よ～」初の姉弟対決に勝利したゆふが初めて「優勝」の文字を手にしたんだった。

昨年ディスク競技から引退したゆふだが、その後腰の痛みも順調に回復し、体重も増えちゃったりなんかしてますますパワーアップした頑固ババアになりつつある(笑)

さて、この日のゆふも元気いっぱい!!ひろびんと私を相手に心配していた4ラウンドをとて楽しそうにこなした。やはりゆふはコートの中を走り回る姿がよく似合う。このままグラチャンも獲れちゃうんじゃないかと思うくらいだ(大嘘)。

結果の方はご存知のとおり、ひろびんの思惑はそのスローとともに見事に崩れ落ち、ボールチャンの称号とチャンピオンタイトルは私のものとなった♪(´▽｀)

触らぬ神に祟りなし。帰宅後1時間ほど車の中に放置されていたひろびんの姿を見たものはいない。。近所のおじいちゃん以外は…。



ニッケペットケア株式会社

エグゼチョイス



NIKKE

exe
CHOICE



PURINA®

PRO
PLAN
プロプラン®



ARTEMIS™

HOLISTIC APPROACH TO PET FOOD™



BLACKWOOD®
Premier Nutrition

SKYDOG SPORTS Vol.22

2012年1月号

発行元 日本フリスビードッグ協会

〒950-0993 新潟県新潟市中央区上所中 2-1-6

TEL.025-280-1256 FAX.025-280-1257

URL:<http://www.frisbeedog.co.jp>